

2025 年 12 月 1 日
網走バス株式会社

外国人運転手候補の採用について

タカハシグループの網走バス株式会社（代表取締役社長 小澤 友基隆）は、2025 年 11 月 27 日、インドネシア人の運転手候補 1 名を採用しました。今後、地域の足を守る新たな担い手として活躍するべく、バス運転手に必要な免許取得・各種教習に取り組んで参ります。

【背景】

道内主要路線バス事業者※1の運転者数は2015年度末の約3,800人から2024年度末には約2,900人と約900人（20%以上）減少しており、この間、実車走行キロは1億3,160万キロから9,263万キロと約3,900万キロ減少しています。※2

当社においても運転手不足へ対応する為、近年は道外からの移住希望者を積極的に採用するなど地域交通の担い手確保に取り組んで参りました。しかし取り巻く環境は厳しさを増し、さらに今後5年以内に当社全運転手の約20%が定年退職を控えています。

※1 高速バス・定期観光バスを除く車両数30両以上の事業者

※2 出展：北海道運輸局

【採用過程】

全国的な運転手不足を受け、2024 年 3 月、自動車運送業分野（バス・タクシー・トラック運転手）が「特定技能1号」の対象に追加された事により、外国人バス運転手の採用が可能となりました。

当社グループの介護部門で連携実績のある特定技能外国人登録支援機関（株式会社 3eee）の支援を受け、日本語能力検定N3資格及び自動車運送業分野特定技能1号試験に合格したインドネシア人運転手候補の1名の採用に至りました。

【今後の予定】

本年12月3日より外免切り替え手続きを開始し、日本の免許証交付後は速やかにバスの運転に必要な大型二種免許を取得予定です。2026年3月末までにバス運転手として選任し、その後は送迎バス乗務から開始、教習を重ね路線バス乗務へとステップアップを目標にしています。

【当社代表コメント】

このたび、初めて外国人ドライバーを迎えることとなりました。この取り組みは、私たちの採用戦略における新たな選択肢の一つとして非常に大きな意義を持っていると考えています。これは単なる一時的な対策ではなく、私たちがこれからの時代に向けて新しい可能性を切り開いていく第一歩です。インドネシアは日本とハンドル位置や通行位置が同じという利点がありますが、運転ルールやマナー、技術面では違いもあります。そのため、しっかりと育成を行い、年度内には安心してデビューできるよう努めてまいります。

私たちは多様性を積極的に取り入れることで、社内に新たな視点や文化の交流を生み出し、それが地域社会へのより豊かなサービス向上につながると確信しています。これからも私たちは挑戦を恐れず、新しい可能性を切り開きながら、地域の皆さまと共に成長していく所存です。

以上

お知らせ
報道関係各位



本件は深刻な運転手不足の解消に繋がる可能性があり、また全国的にも特定技能資格での外国人バス運転手候補採用は例の少ない取り組みとなります。ぜひご積極的な報道をお願い申し上げます。

【報道関係の方のお問い合わせ先】
網走バス株式会社
明神 健太（みょうじん けんた）
電話：（直通）090-3397-2596
（総務）0152-43-4104